

教育経済建設常任委員会行政視察報告書

藤 生 智 弘

○長野県松本市

「街なみ環境整備事業」及び「歩いてみたい城下町整備事業」について

【所 見】

2日間の日程で「教育経済建設常任委員会行政視察」が行われた。今回の視察資料を確認し、「街なみ環境整備事業」及び「歩いてみたい城下町整備事業について」という言葉を見て、足利に少しでもプラスになるようなことを見つけなければと思った。移動で使うバスは足利インターを通り北関東自動車道へ。改めて思うことは、予断になるが、この高速道路が開通し、足利インターができてよかったと思う。東の茨城方面、北の宇都宮東北方面、南の東京方面、そして今回の西の甲信越方面と、インターが近くにできたおかげで実に便利に、そして短時間に行くことができるようになった。足利市内では「とちぎ」ナンバーではなく「宇都宮」ナンバーや他県から来る車が増えているような気がする。改めて生活のクオリティーを高めるにはインフラの整備は欠かすことのできない要素と思う。視察地である松本市の町並みの整備事業も質の向上を目指すインフラ整備の一つだと思う。

前置きが長くなったが、1日目の視察地である松本市に到着してまず感じたことは、町並みを始めとしてとても綺麗だということである。訪日外国人が日本についての印象をごみが落ちてなく実に綺麗だということをよく耳にする。それと同じような感覚だと思う。資料の中に「松本駅から松本城までの周辺商店街への回遊性を高め、地域の活性化と居住環境の向上を図るとともに松本城や城下町の歴史を大切にしながら魅力ある町づくりを行なっている」とあるが、この綺麗さならば訪問客は快く商店街や松本城を回遊し消費に結び付けてくれるのではないかと思った。

足利市においても、現在、市内中心部の区画整理事業が進行中であるが、予算の関係もあろうが、一日でも早く完成させ足利へ来た訪問客が、足利は綺麗だ。日本最古の学校もある。平成25年8月に国宝に指定された鏝阿寺もある足利へ行ってみようと言われるようにしたいと思う。

○長野県安曇野市

「安曇野市観光振興ビジョン」について

【所 見】

2日目の視察地は、安曇野市である。西側に目をやれば3,000メートル級の山々が連なる中部山岳国立公園の山岳地帯である北アルプス連峰がそびえ立ち、平地にはりんごを初めとする果樹園や真っ白な花を咲かせるそば畑、北アルプスからの湧き水を利用したわさびの栽培やニジマスの養殖、要するに綺麗でおいしい水、綺麗で澄んだ空気、人々を引き付ける大自然があるという感じである。

観光を軸に「安曇野暮らし」を知り、広く伝え、磨きをかけ、さらに輝かせていく一連の活動を「安曇野暮らしツーリズム」と書いてある。また、観光関連者だけでなく現に安曇野に住んでいる全産業の事業者、そして住民一人一人が来訪者に安曇野の暮らしを伝え、体験、応援してもらっていくことを目指すとあるが、大変すばらしいことと言える。

足利の市民の皆様も、一人一人が足利の発信者になり少しでも足利のPRができれば少しずつではあるが、口コミで足利の良い所が伝わっていくと足利の未来は少し明るくなるのではないかと。